



<2019年6月6日発行 会報第975号>

今週のプログラム

(2019年6月6日 第975回例会)

卓話:「明治の夜明け」

担当: 西本 明文会員

次週のプログラム

(2019年6月13日 第976回例会)

第21回創立記念例会

担当: 山田 克子親睦委員長

第974回例会 (2019年5月30日) の記録

<会長の時間>

会長 藤田 芳浩

皆様 こんにちは、お元気ですか！本日は、わがままを申し上げて姉妹クラブ「福島21ロータリークラブ」にメイクアップ訪問いたしております。例会開催が同じ木曜日、時間も18:30からと曜日も時間も同じですので、どちらかを休まなければならないのですが、今回もSkypeを使っての会長挨拶で参加の形とします。宜しくお願い致します。尚、福島21ロータリークラブ本日の例会は「親睦例会（お誕生会）」を開催されておられます。2018-2019年度 松本 和彦会長にもSkypeを使ってのご挨拶をお願いしております。今回で2回目となるSkypeですが、両クラブの会員の皆さんには、Skypeの設定・会場の環境の調整等、マイク・プロジェクター・スクリーンとご無理ばかりを申しておりますが、ご了承いただきますようお願い致します。さて松本 和彦会長の会長挨拶にもございましたが、明後日の6月1日・2日は「東北絆祭2019」が、ここ福島市で開催されます。「青森ねぶた祭、盛岡さんさ踊り、仙台七夕まつり、秋田竿灯まつり、山形花笠まつり、福島わらじ祭り」の東北6県の代表的な祭りのパレードが、一方通行で華々しく行われ2日間で約30万人の人出が予想されています。このようなパレードは、この「東北絆祭」以外では見られない様です。このお祭りは2011年の東日本大震災の鎮魂と復興を願い同年より開催された「東北六魂祭（とうほくろっこんさい）」を2017年から引き継いだ形で開催されるお祭りとの事です。このようなお話をお聞きいたしますと東北の皆様は、強いきずなで結ばれ前向きな姿勢で目標に向かって進まれている事を改めて教えて頂いたように思います。また、福島21ロータリークラブの皆様にお聞きしますと2020年のオリンピックに向かって本年2019年は「聖火リレー」にクラブとして参加される様ですので、その準備でも盛り上がっているとの事です。その後にはクラブ創立20年の節目を迎えられ「創立20周年記念事業」も企画されています。東北の復興に関しては、必要な事業・支援についての相互の情報交換をさらに深めていただき、千里メイプルRCは姉妹クラブとして様々な形での参加を積極的にしたいと思っております。特に社会奉仕活動について協力できればと考えますので、今後とも宜しくお願い致します。

＜お客様＞ なし

＜出席報告＞ 西本 明文出席担当

会員数（内出席免除会員 1 名） 20 名
本日の出席者数 15 名
（内出席免除会員 0 名 名誉会員 0 名）
本日の出席率 78.95%
前々回(5 月 16 日)の修正出席率 84.21%

＜ロータリーソング＞

♪ 日も風も星も ♪

＜ピアノ演奏＞ 近藤 美里さん

1. 煙が眼にしみる
2. 八十日間世界一周
3. 虹の彼方に

＜幹事報告＞

水島 洋 幹事

1. 本日より、次年度前期のプログラムを例会場に掲示致しております。
次年度の予定や卓話担当日など、各自ご確認をよろしくお願い致します。
2. RI 日本事務局より、6 月の RI レートは\$1=¥110 と連絡がありました。
3. 千里ロータリークラブの社会奉仕講演会の案内を回覧します。本日申し込み締め切りです。
4. 6 月 6 日は新旧合同理事会を開催します。

＜SAA 報告＞

松田 親男副 SAA

＊スマイルボックス

西本詩子会員 庭の紫陽花が沢山咲き始めました。
西本明文会員 先日のニコニコ欠席のため。
柳原会員 土、日は伊勢神宮に行きます。

＊ロータリー財団

松田会員 暑かったり、寒かったり
山田克子会員 コメントなし

＊米山記念奨学会

松田会員 藤田丸あと 1 ヶ月足らず。楽しんで下さい。
相原会員 昨晩は最後を見そこなった。

＊ラオス基金

柳原会員 来月は、孫の初詣です！（息子の子）

＊メイプル基金

水本会員 先週欠席のおわび。
水本会員 黒川会員、卓話よろしくお願ひします。
松田会員 木下丸、もうすぐ出航!!
西本詩子会員 尊い命が奪われた悲しい事件、2 度とおこりませんように。
柳原会員 久しぶりの釣り、ガシラおいしかったデス。
黒川会員 卓話よろしく、聞いてね!!
山本友亮会員 黒川先生、卓話楽しみです。
木下健治会員 6/6,13 欠席のおわびです。
山下会員、西本(明)会員 コメントなし

皆さんは、今までに霊的な不思議な体験をしたことがありますか？ 私は、子どもの頃、寒い冬に「タンポポ遊び」（しなびたタンポポをお互いに打ち合っ、花をちぎる遊び）を絶対したいと思っていたら、雪なのに庭にタンポポがぽつと咲いたのでびっくりして、「お母さん！」と叫び家中を走り回ったことを覚えています。また、夏の暑い日、電線に並んでとまっている燕に「落ちてごらん！」と何度も言っていると、偶然に一羽がポトンと道路に落ちたので、慌てて拾い上げるとバタバタと飛んで行った記憶は脳裏に焼き付いています。

その他、幾つかの不思議な現象の思い出がありますが、誰もがこのような不思議な経験があるのだと思っていました。しかし、このような感覚は霊的なものであり、全ての人々が持っているものではないことを知ったのは、大学受験を真剣に考え始めた高校2年の頃でした。

Spiritualな感覚は、キリスト教用語に由来しますが、やはり霊的なさまを言い、洋の東西を問わず存在するのです。しかし、大学に入り、俗世界にどっぷり浸かる頃には、霊的感覚が薄れていくのが分りました。そんな時、家の宗派である真言宗に興味を持ち、それが密教であることを知りました。空海が唐よりもたらした密教は、従来の仏教である顕教（けんぎょう）＜誰にでも明らかにする教え＞とは違い誰にでも教えられない部分があると言われ、益々引かれたのです。まさにspiritualな世界に魅せられたのです。

皆様もご存知のように、真言密教は平安時代（806年）空海が唐より帰朝し、開創された仏教であります。現在では、真言宗として様々な宗派に分かれています。世界遺産となった高野山は、816年に空海が開山した道場であり、今でも空海は奥の院で即身仏として座禅をし続け、世の平和を祈り続けていると伝えられ、宗祖である弘法大師の残した教えと信仰は今の時代も連綿と受け継がれているのです。

さて、今日は十三佛について述べさせて頂きます。十三の仏とは、閻魔王を初めとする冥途の裁判官である十王と、その後の審理（七回忌・十三回忌・三十三回忌）を司る裁判官の本地とされる仏様なのです。十三仏真言とは、真言宗で勤行や法要の際に順に唱える十三の如来・菩薩・明王の真言のことです。私は、何となく自らが与えられたような気持ちになります。

①不動明王：恐ろしい表情で、左手に縄を持ち、右手には剣を持つ仏で、様々な煩惱を打ち砕き、清い心をつくり、般若心経の眼耳鼻舌身意を清める「六根清浄」を行うと言われています。

真言：<のうまくさんまんだ ぼざらだん せんだまかろしゃだ そわたや うんたらた
かんまん>

②釈迦如来：不動明王によって心を清めた後に現れる仏様で、実際にこの世で苦難も快樂も経験したお釈迦様の導きによって、究極の涅槃至福の道を歩んで行くと言われています。

真言：<のうまくさんまんだ ぼだなん ばく>

③文殊菩薩：目先の欲に負けて、大事な人やものを失わず、「智慧」の力で正しく生きていく道を指し示すとされています。

真言：<おん あらはしゃのう>

④普賢菩薩：心に「慈悲」をもつことで、心を清めお釈迦様に近づいていく修行の意味を持ち、菩提心を大きくし、涅槃の至福の世界へと導く仏とされています。

真言：<おん さんまや さとばん>

⑤**地藏菩薩**：あらゆる苦しみをその体で受け止め、二度と苦しみが来ないように守り、新たに再生するまで一緒に歩み続ける仏とされています。

真言：〈おん かかかび さんまえい そわか〉

⑥**弥勒菩薩**：この世のあらゆる生きものを尊び、愛し、慈しんで下さる仏とされています

真言：〈おん まいたれいや そわか〉

⑦**薬師如来**：人々の病気を治しこの世を救ってくれる仏で、薬師如来の真言には「この世から戦争がなくなり人々が苦しむことがないように」という意味が込められているといわれています。

真言：〈おん ころころ せんだりまとうぎ そわか〉

⑧**観世音菩薩**：その人に合わせた姿で現れるともいわれ、怒りに満ちた人には怒りの姿で、貪欲な人には貪欲な姿で現れます。人々は、その姿を見ることで自分の煩惱に気づき、仏の「徳」を身に着けることができるとされています。

真言：〈おん ありきや そわか〉

⑨**勢至菩薩**：智慧の光りで闇を撃退する強い勢いをもつ仏とされています。

真言：〈おん さんざんさく そわか〉

⑩**阿弥陀如来**：悩み苦しんでいる人を救って下さる仏とされています。

真言：〈おん あみりや ていぜい からうん〉

⑪**阿閼如来**：様々な苦しみを引き起こす欲望から自由になり、智慧と慈悲の心を大切に生きる覚悟を指し示す仏とされています。

真言：〈おん あきしゅびや うん〉

⑫**大日如来**：太陽の光があらゆるものを平等に照らすように、この世のすべてのものを光で照らす仏とされています。

真言：〈おん あびらうんけん ばざらたどばん〉

⑬**虚空蔵菩薩**：平等性智を司り、人が煩惱も欲も捨て無心になることで本当に尊いものが見えてくるのを助けて下さる仏とされています。

真言：〈のうぼう あきやしゃ きやらばや おんありきや まりぼり そわか〉

ここでいう真言はサンスクリット語のマントラであり、古代インドにて仏陀や菩薩が説かれた聖なる呪文です。元々は梵語＝サンスクリット語で書かれていますが、当時、唐やチベットなどの密教のお坊さんがインドから持ち帰って母国語にした際に発音が変わったのでしょう。空海や最澄も唐から持ち帰ったので漢字発音ですが、真言宗と天台宗では若干発音が異なるようです。

〈編集後記・追加情報・ チョット一言・ライブラリー・ etc〉

今回は、ロータリーの卓話には相応しくなかったかも知れませんが、いつか、話せたら良いのと思っていたテーマでした。会員の皆様におかれましては、静かに拝聴して下さいまして感謝致しています。なお、F.S (岸上会員) は、12,254円でした。

(文責：黒川 彰夫)